

2021年度春期 リバティアカデミー (社会人講座) 開講のご案内

※春期講座は「Zoomによるリアルタイム配信型」のみの実施となります。
受講方法・お申込方法等の詳細は、リバティアカデミーHPでご確認ください。

お申し込み・お問い合わせ

明治大学リバティアカデミー

平日 10:30 ~ 19:00
土曜 10:30 ~ 15:30 (日祝休業)
TEL 03-3296-4423
FAX 03-3296-4542
Mail academy@mics.meiji.ac.jp
URL https://academy.meiji.jp
〒101-8301
東京都千代田区神田駿河台 1-1
明治大学駿河台校舎
アカデミーコモン 11階



社会保険労務士 総合研究機構後援講座

人を大切にする働き方・働かせ方

講座趣旨

長時間労働の解消、正規と非正規の待遇格差の是正などをめざして「働き方改革関連法」が施行された直後、今度は新型コロナウイルスの影響が企業と職場を直撃しました。その一方で、デジタル化への取り組みも加速化しています。リモート・ワークによって従業員のメンタルも不安定になりがちです。それだけではなくありません。昨年6月から「パワハラ防止法」が施行されましたが、それへの対策も義務付けられました。こうして多様な面で、経営環境はこれまで体験したことがないほどに変化しています。

AIやIoTが入ってきて企業競争力の源泉が従業員の力量であることには変わりません。ますます従業員の意欲とやり甲斐の違いが重要になってきています。ですから敢えて言えば、効率性や経済性という視点だけではなく、社会と人権という視点が不可欠になっています。このような考え方にたつて、「人を大切にする働き方・働かせ方」とは何かを考えます。

講座概要

コーディネータ	黒田 兼一 明治大学名誉教授
曜日	水曜日
時間	19:00~20:30
定員	30人
回数	全7回
受講料	一般: 21,560円(税込)
教材	オリジナルレジュメ

回	講義月日	内容	担当講師
1	5/12 (水)	「働き方改革」時代の人事労務管理 いま必要な「改革」は、効率性と経済性一辺倒ではなく、従業員が意欲をもって働きがいを感じるような「働かせ方」です。	黒田 兼一
2	5/19 (水)	テレワークによる働き方・働かせ方 コロナ禍で急速に広がったテレワークですが、改めてテレワークの働き方・働かせ方を考えます。制度としてのテレワークの特徴と課題、そしてそれを継続させていくための留意点をお話します。	川澄 佳美
3	5/26 (水)	AI、RPAで変える働き方 日本企業の3割がRPA（ロボティックプロセスオートメーション）を導入するようになってきました。RPAはやがてAI（人工知能）へと進み、多くの人の働き方を変えていきます。その時に「強み」として残るものは、そして誰もがこぼれ落ちることのない働き方はどのようなものなのか、いっしょに考えていきたいと思います。	山崎 憲
4	6/2 (水)	ハラスメント最新事情 ーなぜ起きる、どう対処するー 最近も様々な事件が繰り返され、その都度取りざたされるハラスメントですが、その言葉の意味は十分に理解されてはいません。果たしてあなたの理解で大丈夫でしょうか？最新事情で、もう一度あなたの理解を確かめてみましょう。	金子 雅臣
5	6/9 (水)	実践！介護事業所の人事労務課題とその解決策 介護職員処遇改善加算に象徴される複雑な人事労務課題の解決事例を具体的に解説します。	三島 幹雄
6	6/16 (水)	職場のメンタルヘルスと復職支援 予防医学の観点から、精神疾患に関する知識や対応と復職支援に向けた取り組みについてお話します。	岩元 健一郎
7	6/23 (水)	かわる仕事の形とこれからの日本企業の課題 新しい仕事の形は日本企業に何を求めどのように変わっていくのか？ 日本企業のこれまでとこれからを人、組織、経営の視点から考えていきます。	田村 豊

コーディネータ・講師紹介



くろだ けんいち

黒田 兼一

明治大学名誉教授

明治大学大学院経営学研究科修了。専門は人事労務管理論。自動車産業を中心に、戦後日本企業の人事労務管理を研究。1992年から1年間イギリスに、2002年から2年間アメリカに滞在し、現地日系企業の人事労務管理と労使関係を調査。現在は日本の人事労務管理の「これまで、いま、これから」に焦点をあてた研究に取り組んでいる。最近の著書に『戦後日本の人事労務管理』（ミネルヴァ書房）、『フレキシブル人事の失敗』（旬報社）、『人間らしい「働き方」・「働かせ方』（ミネルヴァ書房）など。



かわすみ よしみ

川澄 佳美リバークリア社会保険労務士事務所
特定社会保険労務士

大手建材メーカーで長年人事労務全般業務に携わる。2010年、在職中に明治大学大学院経営学研究科を修了。ワーク・ライフ・バランスの視点で女性継続就労について研究をする。その後、社会保険労務士事務所勤務を経て、独立開業。中小企業を対象に、人事労務相談、人事評価制度設計、助成金申請等を中心に相談業務を展開している。2018年より東京テレワーク推進センター専門相談員として、さまざまな企業からのテレワーク導入に関する相談を受けている。



やまざき けん

山崎 憲(独) 労働政策・研修機構
調査部主任調査員

2010年から2017年まで中央大学法学部兼任講師。1967年生まれ。博士(経営学)。2003年から2006年に外務省専門調査員として在デトロイト日本国総領事館に赴任。著書に『働くことを問い直す』（岩波書店、2014年）、『デトロイトウェイの破綻—日米自動車産業の明暗』（旬報社、2010年）、『フレキシブル人事の失敗—日本とアメリカの経験』（黒田兼一との共著、旬報社、2012年）、『仕事と暮らしを取りもどす—社会正義のアメリカ』（遠藤公嗣、筒井美紀との共著、岩波書店、2012年）ほか。



かね こ まさおみ

金子 雅臣一般社団法人職場のハラスメント研究所
代表理事

元東京都職員、産業労働局などの勤務を経て、現在は「職場のハラスメント研究所」所長、成蹊学園人権委員会委員、葛飾区男女差別苦情処理委員会委員、日本教育心理学会スーパーバイザー。これまでに、お茶の水女子大学人権委員、千代田区女性問題協議会委員、港区男女差別苦情処理委員会委員などを歴任。現在、「ガバナンス」「労働法研究会報」などに連載執筆中。セクハラ、パワハラ、ホームレス、リストラ、フリーター、職場のいじめ問題などの職場ルポを各種雑誌に執筆。



みしま みきお

三島 幹雄サードブレイス社会保険労務士法人
特定社会保険労務士

獨協大学外国語学部卒業。大手介護企業の人事部門を経て、29歳で社会保険労務士事務所を開業。介護企業での経験をベースに介護事業者に対し実践的なアドバイスを提供している。「特定技能」ビザを活用したクリーンな形での外国人介護職員の就労支援にも積極的に取り組んでいる。著書『介護職員処遇改善加算取得・活用ハンドブック』（日本法令）。



いわた けんいちろう

岩元 健一郎国立精神・神経医療研究センター病院
公認心理師・精神保健福祉士

筑波大学大学院人間総合科学研究科修了。明治大学商学部卒業後、IT企業と専門商社を経て、EAP (Employee Assistance Program) サービス提供会社やリワーク (休職者の職場復帰支援) 機関にて労働者の心の健康に関わり続ける。2016年より国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター、2018年より同センター病院リワークデイケアにて認知行動療法を用いた職場復帰支援に取り組んでいる。



たむら ゆたか

田村 豊愛知東邦大学経営学部教授
明治大学大学院経営学研究科兼任講師

明治大学大学院経営学研究科修了。博士(経営学)。専門は人事労務管理論、生産マネジメント論。スウェーデン企業の経営戦略と労使関係の相互関係について日本と比較し、日本企業の組織力の強さについて研究を進めている。著書に『「人材ポートフォリオ」と経営労務監査の新たな展開』（社労士総研）、『中小企業の経営力とは何だ』（中部経済新聞社）など。